

九千部岳～船もよかねえ～

【報 告 者】古賀

【日 時】平成 20 年 3 月 16 日

【天 候】晴れ

【参 加 者】古賀、会員外 6 名

《 報 告 》

島原半島って福岡からだで行きにくいですよ。陸路だと諫早をぐるりと回らないといけないし、フェリーを使うにしても長洲まで結構ある。ところが熊本からだともない。

ってことで、職場の人達と行ってきました。

「日曜日、行くけどどーする?」。木曜日(だったと思う)、職場の山好きのオッサン(Kさん)からの、相変わらず突然のお誘いである。仕事柄3月は忙しいのだが、ちょうど一息ついた頃合いであった。「行きます、行きます〜」。

朝7時過ぎに集合、3号線を北上し長州港へ。長州港845発のフェリーで多比良港へ。約40分の船旅である。

熊本から島原へ渡るには2つの経路がある。一つは長州港から。もう一つは熊本新港から。なんで長州港の経路を選んだかという。「安いから」。具体的な料金等は省略。興味があったら調べましょう(つてか、僕は助手席でぼーとしてたので、料金を把握してないのだ!)。時間は掛かるけど安い。それが長州港からのフェリーの魅力です。ついでに、このフェリー、カモメとの触合いができます。長洲を出てから多比良に着くまで、カモメがずーっと付いてくるんですよ、フェリーに。子供達は大はしゃぎ、オッサン達は「カモメパン」なるカモメ用のパンを船縁から差し出す。タイミングが合えばパクリと持って行ってくれます。見てるだけでも結構楽しい。あつという間の40分でした。

多比良からは国道389を南下。この国道、ホントに国道か?と疑問を抱く程狭く、民家に隣接しております。生活道路って感じですね。帰りに通った県道131の方が広くて走りやすいくらい。そうそう、余談ですが、多比良港は「国見」という所にあります。国見と聞いて何を思い浮かべますか?そーです。サッカーですねー。長崎県立国見高校が国道沿いにあるんですよ。そして、町にある街灯には、サッカーボールのアクセサリーがくっついてたりします。ホントです。お疑いの方はご自身の目で確かめてみてください。ビックリすっど。

ってことで、1000頃に登山口である千々岩トレイルセンターに到着、1020出発。

九千部岳は周回コースがあります。今回はリーダーであるKさんの意向によって時計

回りで行くことになった。地形図を見るとなだらかな登りがダラダラと続き、下山は一気に下ることになる。なんだかヤな行程だなーと思ったのだが、それは下山の時の中した・・・。

田代牧場脇の遊歩道を20分程歩き、途中から南に進路を取る。そこからが登りだ。悪天候なら間違いなく雨の通り道となるであろうガレた感じの道。あまり楽しくない。その道をテクテク登っていく。周りは植林地帯だ。森も面白くない。しかも谷浴い。40分程歩いて、別方面からの分岐へ到着。そこからは自然林の登山道らしい道となる。20分程で山頂へ。あ、なんか鳥居を潜ったなー。ちゃんとメモを取っておくべきだった。

山頂の景色は抜群であった。平成新山と普賢岳が間近に見え、そこから西に目を移すと雲仙の温泉街。更に西に目をやると橘湾。更に西に行くと諫早が遠くに見える。気温が高かったので霞がかかっていたが、よい展望を味わうことができた。そうそう、普賢岳の東側には、熊本を代表する(?)金峰山、二の岳、三の岳も見えますよー。ちょうど雲の上に頂が見え、なかなか幻想的な景色でございました。

山頂で豪華な昼食。「太って帰る山行(栄養山行)」でございます。これ、ピナクルではありえない山行形態ですね。でも「郷に入らば郷に従え」。リーダーの意向に従うのは当然でございます(けっこう喜んでたりしますが)。

1時間程山頂で過ごして下山開始。

下山を始めて暫くすると。あれ?あれ?なんだか足の調子が……。もしかして膝が笑ってない?

ここしばらく五ヶ瀬にスキーばかり行っていたので、足が山登りを忘れてしまったようだ。かなりショックである。「え、え、え??? 今日のはあんまし歩いてないよね・・・」。たったこれだけの歩行と傾斜で膝が笑うとは……。日頃の運動不足を否応なく突きつけられた形となってしまった。

言い訳なんですけど、僕的には反時計回りをオススメします。

1400頃、登山口へ下山。

時間に余裕があれば吾妻岳にも登りたい、そうKさんは言っていたが、残念ながら時間切れ。膝が笑っている僕にはもう充分であったが。

下山後の温泉は雲仙温泉へ。ここ、観光名所だけあって値段が高いッス。ひと風呂浴びて多比良港へ。途中、港脇にある「みゆき蒲鉾本舗」にて試食品荒らしと化し、一通り満足してからフェリーに乗り込んだ。もちろんちゃんと買い物もしましたよ。揚げたての天ぷら、美味しかったなー。

船にも乗ったし、ご飯も美味しかった。そして景色も充分堪能できた。とっても楽しい山行でした。